

チャペル週報

闇の中を歩む民は、大いなる光を見
死の陰の地に住む者の上に、光が輝いた。

(イザヤ書 9:1)



2011.11.28.~12.2 No.22
関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

- 11月28日(月) 神 小 片 聡 (神4)
 經 舟 木 讓 (宗教主事)
 人 アドベントを覚えて 嶺 重 淑 (宗教主事)
 聖和 聖書物語「とうとうやってきた」
-
- 11月29日(火) 神 <キリスト教音楽に触れよう2> 水 野 隆 一 (神学部教授)
 文 アンドレアス・ルスターホルツ (宗教主事)
 社 「希望」をめぐって① 高 坂 健 次 (社会学部教授)
 法 音楽チャペルⅠ バロックアンサンブル
 經 人間を考える① 市 川 文 彦 (経済学部教授)
 商 美 野 久 志 (商学部教授)
 国 音楽チャペル ハンドベルクワイア
 聖和 井 上 久 夫 (教育学部教授)
 総 中 條 道 雄 (総合政策学部教授)
-
- 11月30日(水) 神 加 藤 善 治 (神学部教授)
 社 テゼ共同体を訪れて 学生有志
 English Chapel Christian Morimoto Hermansen (宣教師)
 經 アジア学院の働きを覚えて一 生きるために必要なもの一
 Satomi McCurley (アジア学院宣教師)
 商 今 井 讓 (商学部教授)
 人 冬の献血週間を覚えて 宗教総部献血実行委員会
 国 冬の献血週間をおぼえて 献血実行委員会
 聖和 「音楽は生きる力」丸尾クラス
 理 「受胎告知」独唱
 総 久保田 哲 夫 (総合政策学部教授)
-
- 12月1日(木) 神 阪 口 孝 (日本基督教団正教師)
 文 音楽チャペル 聖歌隊
 社 献血実行委員会
 法 音楽チャペルⅡ バロックアンサンブル
 經 定年退職者最終講話 大 谷 強 (経済学部教授)
 商 English Chapel Timothy Boyle (宣教師)
 国 English Music Chapel Ja Yon Ku (vocalist)
 聖和 「汝の敵を愛せよ一人と人のつながり」
 脇 林 清 (大島キリスト教霊交会共同代表)
 総 宗教総部献血実行委員会
-
- 12月2日(金) 院 樋 口 進 (宗教センター宗教主事)
 神 献血実行委員会によるチャペル
 文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
 經 舟 木 讓 (宗教主事)
 人 エルス・マリー アンベッケン (人間福祉学部教授)
 聖和 田 淵 結 (教育学部宗教主事)
 理 「受胎告知」一 独唱・アヴェマリアを聞きながら

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:20～8:40 於:ランバス記念礼拝堂(上ケ原)
 12月2日(金)経済学部のために 増 永 俊 一

ローマのクリスマス

山 田 香 里

私は20世紀の終わり、4年半ほどローマで過ごしたが、ローマの街で初めて迎えるクリスマスには期待で胸が一杯になった。日本では11月も後半になれば街は華やかに彩られていたので、ヴァティカンがあるローマでは、さぞ美しい飾り付けをするのであろうと考えたのである。ナヴォーナ広場ではクリスマスの季節になると市が立つと聞いていた。そこで売られているのは、アドヴェントに飾るキリスト降誕の物語を表す人形、プレセピオ。そして公現日に子どもたちに贈り物を配って回るベファーナの人形。ベファーナは、いわゆる魔女なのだが、よい子には贈り物を届け、悪い子には炭を置いていくという。この炭をかたどった砂糖菓子がナヴォーナ広場の市で売られていると聞いていて、なぜだか非常に興味を掻き立てられた。

実際のクリスマスの飾りつけは日本のように早くは始まらなかった。ローマのクリスマスは、12月8日、聖母の無原罪の御宿りの祝日に、教皇がスペイン広場近くの聖母像に詣でることで本格的に始まったように思う。サン・ピエトロ広場には、例年通りクリスマスツリーと巨大なプレセピオが飾られたことをニュースで見たが、街の飾りつけはあまりぱっとせず、どこか場末の繁華街の飾りのようにも見えた。

さて、初めてローマで過ごしたクリスマスイブ、私はローマのワルドー派神学校の教会で過ごした。普段はメソジスト教会に通っていたが、キリスト教国イタリアでも少数派のプロテスタント教徒たちは教派に関わらず、この日ここに集まっていたのである。私はカトリックが9割以上を占める国でプロテスタント教会に属するイタリア人たちを不思議な思いで眺めていた。老若男女、教会の集会室で明るく飲み食いをし、語らっているその姿の背後には、一つの信仰をともしる者の強い絆が見えた。そういえばクリスマスは、イタリアの人たちにとって「連帯」を確認する季節でもあったのだ。翌25日のクリスマス当日は友人の家で過ごした。バスも地下鉄も全て止まった街では、全ての人が身近な人たちとの連帯を確認しながら共にクリスマスを過ごしていたはずである。私も、初めて会う友人の親族との一期一会を噛み締めていた。そしてクリスマスの飾りつけは、静かに、ベファーナと呼ばれている公現日まで続いていた。

(神学部専任講師)

●ランバス演奏会のご案内

西宮上ヶ原キャンパスの正門入ってすぐ右手のランバス記念礼拝堂では、プロの演奏家を招いて質の高い演奏会を開催しています。是非足をお運びください。

*リコーダー・アンサンブル「レアル」コンサート

11月29日(火)午後5時30分開演(休憩あり、約90分)

*平井満美子(ソプラノ)と佐野健二(リュート)デュオ・リサイタル

12月1日(木)午後5時開演(休憩なし、約70分)

いずれも入場無料です。主催：関西学院宗教センター

●冬の献血週間のお知らせ

学生会宗教総部では、秋の献血週間を実施いたします。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いいたします。

期 間：12月6日(火)～9日(金)

受付場所：吉岡記念館ラウンジ

●2011年度大学主催秋季人権問題講演会

総合テーマ：Culture of Human Rights－人権文化を育む(2010年度～2014年度)
「『民政移管』後のビルマ(ミャンマー)：開発事業がもたらす環境・人権への悪影響」

講 師：秋元由紀 氏(ビルマ情報ネットワーク ディレクター)

手話通訳、パソコンテイク、ビデオ撮影を予定

と き：12月1日(木)16:50～18:20

ところ：西宮上ヶ原キャンパス B号館101号教室

●2011年度人権教育研究室研究部会第1回公開研究会

「ビルマ(ミャンマー)の今」公開トークセッション

基調報告：宇田有三(フォトジャーナリスト)

トーカー：秋元由紀(ビルマ情報ネットワーク ディレクター)

コーディネーター：川村暁雄(人間福祉学部准教授・研究部会代表)

と き：12月2日(金)15:10～

ところ：図書館ホール(大学図書館地下1階)

<一般公開・参加無料>

同時開催「宇田有三写真展」

と き：11月28日(月)12:30～12月2日(金)17:00

ところ：大学図書館エントランスホール

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを開催しています。

(18:00～18:20 1405教室)

12月2日(金)アンドレアス・ルスターホルツ(文学部宗教主事)

12月9日(金)樋口 進(宗教センター宗教主事)

12月16日(金)田淵 結(教育学部宗教主事、宗教総主事)

●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

恒例の関西学院最大のクリスマスページェントが大阪のザ・シンフォニーホールで開催されます。参加費はチャリティーとしてアジアにおける奉仕活動などのために献金させていただきます。

開催日時：12月21日(水)17:30開場 18:30開始

参加費：2000円

チケット販売：関西学院大学生協／チケットぴあ／ザ・シンフォニーホールプレイガイド